



アストンマーティン Vantage 北米にて初優勝 Heart of Racing がワトキンス・グレンで勝利

- 新型アストンマーティン Vantage GT3、ワトキンス・グレンにて IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権初優勝を飾る
- パートナーチーム Heart of Racing は厳しい天候の中、6 時間レースで鮮烈な反撃を展開
- ワークスドライバーのロス・ガンは、IMSA GTD Pro クラスのチャンピオン争いに進出
- FFSA GT、IMSA ミシュラン・パイロット・チャレンジ・シリーズ、NLS、スパでのブリティッシュ GT 選手権で頭角を現わす Vantage、世界中で勝利を手に入れる



2024年6月24日、ワトキンズ・グレン（北米）：

アストンマーティン新型 **Vantage GT3** は、アメリカ合衆国ワトキンズ・グレンで開催された **IMSA** スポーツカー選手権 **GTD Pro** クラスで、パートナーチームである **Heart of Racing** と共に輝かしい初勝利を手にしました。

ワトキンズ・グレン 6時間耐久レースでは、土砂降りによってトラックに水が溜まり、レース中盤ではレッドフラッグが出て中断になる場面もありましたが、ワークスドライバーのロス・ガン（英国）および **FIA** 世界耐久選手権のレギュラー・ドライバーであるアレックス・リベラス（スペイン）が、見事な反撃を展開しました。

レース序盤では、急変する天候のコンディションに合ったタイヤが履いていたことが発覚し周回遅れとなったものの、**Heart of Racing** は定評のある戦略センスと、リベラスの完璧な判断力と勇敢な走りに支えられ、アストンマーティンは再び上位争いに加わる事ができました。

レッドフラッグ期間が解除され、フィールドがグリーンフラッグの状態に戻った最終ステージに入ると、ガンは **GTD Pro** クラスの首位を走るコルベットと 16分差で2位につけていました。先頭車は残燃料が少ないことを把握していたため、滑りやすいコンディションであるにもかかわらず、アストンマーティン・チームは果敢にプレッシャーをかけ、ライバルは最終ラップで燃料補給のためピットに入らざるを得なくなりました。これにより、**Heart of Racing** はクラス首位の座を奪い、トップでのフィニッシュを成し遂げました。

チーム・プリンシパルのイアン・ジェームスは、次のように語りました。「本日は **Heart of Racing** チームと **Vantage** にとって夢のような素晴らしい日になりました。このような結果をすべてのシーズンで出すために多大な努力を重ねてきました。ロスとアレックスは前回のデトロイト戦では表彰台に立つことができませんでしたが、今シーズンへの弾みがつき始めています。ル・マン 24時間レースでは、不運に見舞われる直前まで優勝争いに加わっていたため、次のレースでこうして今季初の勝利を掴んで勢いを取り戻すことができ、素晴らしいと感じています。私たちは見事なパフォーマンスによって、厳しい状況を落ち着いて切り抜けることができました。この快挙を成し遂げたチーム全員に心から感謝いたします」

米国で最も権威ある耐久レースで8回目の優勝に輝いたグレンは、次のようにコメントしました。「新型 **Vantage GT3** は、あらゆるコンディションにおいて優れた性能を発揮しますが、とりわけワトキンズ・グレンではその強さが際立ったと思います。正直なところ、このモデルで勝利を手にする兆しは少し前から感じていました。私たちは **Vantage GT3** に秘められた大きな可能性を生かす挑戦を始めたばかりです。今日はアレックスが大活躍したので、彼こそがこの優勝に最もふさわしいと考えます」

この2人がワトキンズ・グレンで優勝を勝ち取ったのは、同じく **Heart of Racing** と共に **Vantage** 前世代モデルで勝利した 2022年のレースに続き、今回が2回目となります。現在、ガンは **GTD Pro** クラスの上位者と 60ポイント差で3位のランクインしており、リベラスは5

月に FIA WEC スパ 6 時間耐久レースに出場し、ラグナ・セカ戦には不参加であったため 8 位となっています。

新型 Vantage GT3 のパフォーマンスの高さは、パートナーチームである Magnus Racing がジョン・ポッター（米国）、アンディ・ラリー（米国）、スペンサー・パンペリーと共に挑んだ 3 度目の GTD クラス戦で、3 位を獲得し表彰台に上がったことをみても明らかです。

アストンマーティン新型 Vantage GT3 は、今年初めにシルバーストーンで初披露された新型 Vantage ロードカーと同じ機械的アーキテクチャを備え、アストンマーティンの実績ある接着アルミシャシーを中心に組み立て、恐るべき 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを搭載したモデルであり、6 月に参戦したレースでは主要 3 大陸において優勝を飾りました。

Vantage GT3 は、鈴鹿で開催された SUPER GT の GT300 クラスで D'station Racing と共に初優勝を手にし、Blackthorn Racing は先週末のル・マン 24 時間レースの直前に開催された、著名なラ・サルト・サーキットでのロード・トゥ・ル・マン第 2 戦で欧州初優勝を達成しました。この勝利に続き、同チームは日曜日に行われたスパ・フランコルシャンでのブリティッシュ GT 選手権シルバー・アマ・クラスで準優勝し、新型 Vantage GT4 で挑んだ Forsetti Motorsport は、GT4 シルバークラスで優勝の賛辞を受けました。これは同チームが Vantage で掴んだ 4 度目のクラス優勝であり、残り 4 戦となった現在は、GT4 のシルバーとプロ・アマ・クラスの両方で首位に立っています。

恐怖ともいえるニュルブルクリンク・ノルドシュライフェ・サーキットで特別開催となる ADAC ニュルブルクリンク耐久シリーズでは、アストンマーティンのパートナーチーム Walkenhorst Motorsport が、アストンマーティン新型 Vantage GT3 によってクラス初優勝を成し遂げ、現在世界中で開かれる SP9 プロ・アマ・クラスのレースで比類のない 4 勝を誇っています。今週末、ベルギーで開催されるスパ 24 時間レースに向けて、完璧な準備を整えています。週末には、IMSA ミシュラン・パイロット・チャレンジ・シリーズでも Team TGM が前世代 Vantage GT4 が優勝し、英国のウルトラ・ラグジュアリーブランドにとって絶好調な週末の締めくくりとなりました。

耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように述べました。「6 月は、アストンマーティン新型 Vantage GT3 が日本、欧州、そしてこの度米国で優勝を果たした記念すべき月になりました。当社を IMSA 選手権での初タイトル、ロレックス・デイトナ 24 時間レース優勝へと導いたパートナーである Heart of Racing こそが、米国初の栄冠に輝いたチームにふさわしいといえます。アストンマーティンの全員にとって大きなモチベーションになっており、今週末のスパ 24 時間レースでもニュルブルクリンク 24 時間レースやル・マン 24 時間レースで示した素晴らしい可能性を発揮し、最高の結果を残すことを目指しています」

2024 IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の次戦は、カナダのカナディアンタイヤ・モSPORT・パークで 7 月 14 日に開催されます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-cwNzzamBbt>

アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、DBS、DBXに加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda

Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific

有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan

松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp